

各地の職場から

今回は神奈川県相模総合補給廠（通称「相模テポ」）に勤務し活躍されている方々を紹介します。

プロフィール

お名前：紺谷 美香
 職場名：陸軍野戦支援大隊・北東アジア
 職種：生産管理専門監督職
 趣味：散歩



コメント

私は現在、陸軍野戦支援大隊・北東アジア地区・メンテナンスブランチで、部隊で保管している米陸軍事前配置ストックと言う様々な軍の備蓄品、中でも軍の車輛や電気・燃料を要する機器や備品、コンテナ化した設備等の品質維持のための定期検査のスケジュールを立てたり、作業指示書を発行するオフィスの監督者をしています。

私は今の部隊の基となる以前の組織から継続して働いているので、その間に色々な出来事がありました。

これらの備蓄品は有事のためのみに使用されるのではなく、天災による人道支援に使用される場合も多く、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の際はストックされていた大きなテントと、水専用のタンクを洗浄し水を入れる作業を夜を徹して準備し被災地に出荷したり、2011年3月に発生した東日本大震災では米軍が翌日から「トモダチ作戦」を決行し、私たちの部隊も24時間体制で作戦の支援を行いました。とりわけ阪神・淡路の震災時は、米軍の即応体制が際立ったことをあとから伺い、米軍の危機管理能力の高さを痛感し、迅速な日本への支援の感謝を今も忘れていません。

相模補給廠（通称：相模テポ）は米軍基地としては空母も飛行機もなく地味ですが（笑）、そんな場所に世界情勢や、日本のみならず各国の災害などに関わる部隊があることをご周知頂ければ幸いです。

プロフィール

お名前：佐藤 隆一
 職場名：パラシュート課
 職種：パラシュート包装及び修理工班長
 趣味：読書とイラスト描き



コメント

相模テポのストレージ・ブランチで、パラシュートを担当しております佐藤です。パラシュート本体と、関連する周辺機器の保全、および倉庫管理を行っております。また、工業用ミシンを用いて、パラシュートの修理や、仕様が変更された場合には改造も行っています。物資は大きな倉庫があふれるほどあるのですが、パラシュート担当者は私を含めて4人しかいませんので、毎日業務に追われております。

パラシュートには定期検査が必要です。毎年2月から4月にかけて、アラスカの基地から、パラシュート部隊の米軍人12名前後が、検査のために相模テポへ出張してきます。この出張検査は、2007年から始まり、それから15年以上毎年続いており、来年も予定されています。物資が大量なので、毎年物資全体の6分の1つづ検査を行い、6年かけて100%の検査を完了させます。以降、それを繰り返すというスケジュールで仕事をしています。出張検査が行われている間は、日本人従業員は米軍人のサポート役として、一緒に働きます。担当の日本人4人だけでは足りず、他のセクションからよく応援に来てもらうこともあります。検査期間中の2~3か月は大変忙しいのですが、楽しいこともいろいろあります。

米軍人のみなさんは、よくバーベキューをやるので、そのたびごちそうになつたりします。私からはアイスクリームを差し入れたりします。日本のアイスは彼らに人気があります。これからも職場に貢献できるように、楽しく頑張っていきたいです。